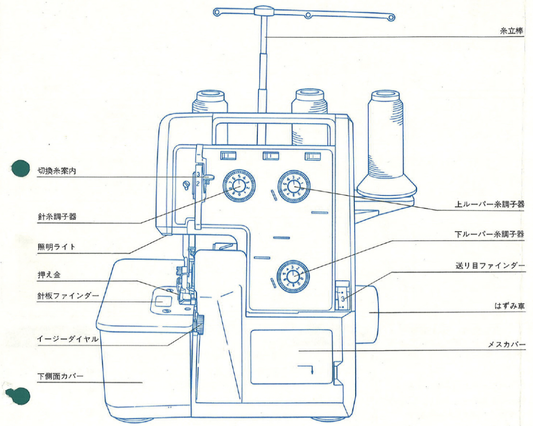
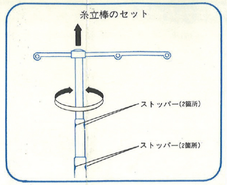
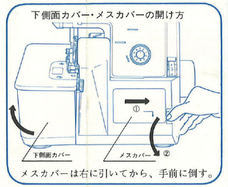
有脱式

# baby lock BL 3-428型ご使用のてびき

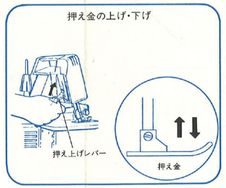
このたびはベビーロックをお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。このミシンの正しい使い方をご理解いただくためにこのてびきを最後まで、よくお読みになり保証書とともに必ず保存してください。

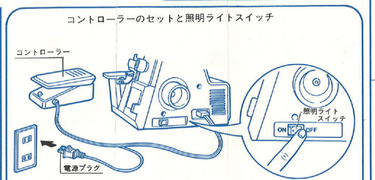



メスカバーは右に引いてから、手前に倒す。




●コントローラーの電源プラグをコンセントに、もう一方をミシン本体のモーター接続部に差し込んでご使用下さい。
コントローラーは強く（深く）踏むと速度が速く、弱く（浅く）踏むと速度が遅くなります。
●照明ライトスイッチを「ON」にすると照明ライトは点灯し、「OFF」にすると消えます。
※ミシン使用後はかならずコントローラーの電源プラグをコンセントより抜いて下さい。又、コントローラーの上に物を載せないで下さい。

●お買上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
●無料修理保証期間は、お買上げ日より1年間です。(詳しくは保証書をご覧ください)
●アフターサービスについてご不明な場合はお買上げの販売店、または下記の当社支店、営業所へお問合せください。


株式会社ジューキ　本社／〒102 東京都中央区八重洲2－7－2（八重洲三井ビル）TEL 03(272)2851
札幌011(737)6821　仙台022(263)3705　新潟0250(43)4451　足利0284(41)5567　東京03(205)8741
静岡054(262)2251　名古屋052(562)7631　大阪06(768)3651　長野0864(73)0355　広島082(227)5781　福岡0942(44)7921



(T428-2) 880601(Y)

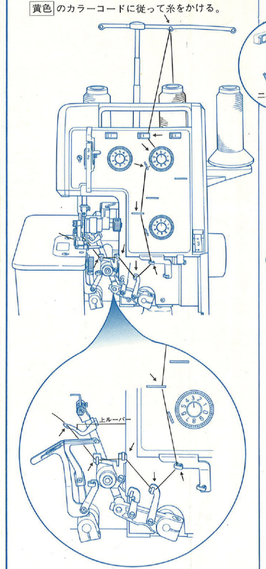

目　次


| | (No.) |
|---|---|
| 糸のかけ方 | 1 |
| 縫い始め・縫い終わり | 2 |
| 3本糸・2本糸の切換 | 3 |
| かがり幅調節と普通ロック・巻ロックの切換 | 4 |
| 糸調子のとり方 | 5 |
| 各部のセットと糸調子 | 6 |
| 送り目の調節 | 7 |
| 押え圧力の調節 | 8 |
| 極厚物・段縫い | 9 |
| 針の交換 | 10 |
| メスの交換 | 11 |
| 照明ライトの交換 | 12 |
| 注油 | 13 |


## 1 糸のかけ方 ※糸は必ず、最初に真中(上ルーバー糸)、次に向って右側(下ルーバー糸)、最後に左側の糸(針糸)の順にかけます。

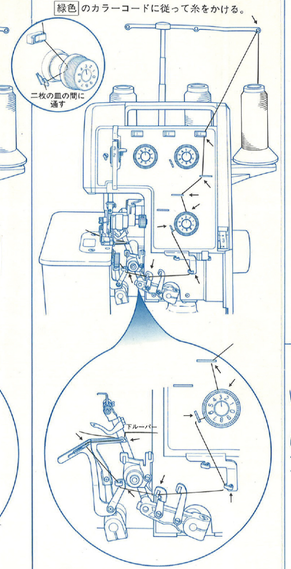
❶上ルーバー糸のかけ方

黄色 のカラーコードに従って糸をかける。



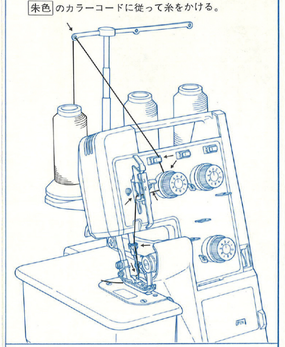

❷下ルーバー糸のかけ方

緑色 のカラーコードに従って糸をかける。

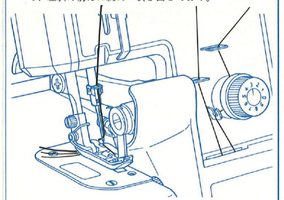



❸針糸のかけ方

朱色 のカラーコードに従って糸をかける。

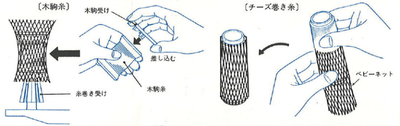


❹糸かけの終った3本の糸は、最後に押え金の下を通して、左斜め前方に約10cm引き出しておく。



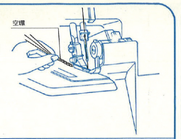
※押え金の下に糸を通す場合、押え上げレバーで一度押え金をあげる。

〔使用糸〕このミシンには通常チーズ巻き糸を使いますが、木駒糸もご使用になれます。
この場合、図のように付属の「木駒受け」をセットしてください。
又、化繊糸などのすべりやすい糸はベビーネットをご使用ください。

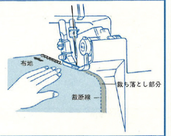



## 2 縫い始め・縫い終わり

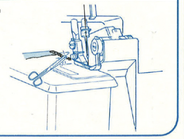
❶押え金の下から出ている糸を、左手で少し張り気味につまみ、右手ではずみ車を数回廻わし、空環を出す。



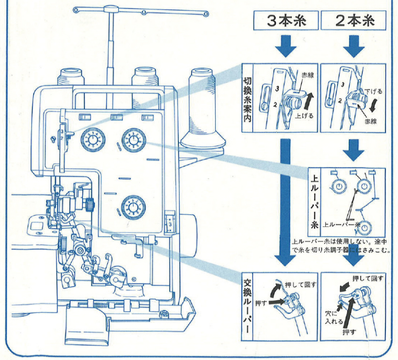

❷布地の裁断線を上メスに合わせて、コントローラーを軽く踏んで、縫い始める。




❸縫い終わりは、布地の端から空環を約5cm位出して、はさみで切る。

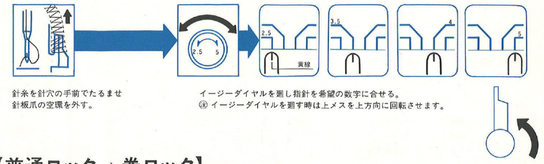


## 3 3本糸↔2本糸の切換 ※作業はメスカバーを開けて行ないます。




## 4 かがり幅調節と普通ロック・巻ロックの切換 ※作業はメスカバー、下側面カバーを開けて行って下さい。

### 【かがり幅の変更】

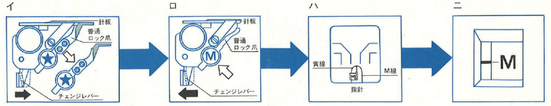



針糸を針穴の手前でたるませ針板穴の空環を外す。

イージーダイヤルを廻し指針を希望の数字に合せる。
④ イージーダイヤルを廻す時は上メスを上方向に回転させます。

### 【普通ロック→巻ロック】

※この操作は、針が一番下に下がっていますとやりにくい為、かならず針が一番下に下がっていない状態で行って下さい。




チェンジレバー（⇔）を押して普通ロック爪（★）を取りはずしします。
④ 普通ロック爪を取りはずした際取付個所を付属のブラシで清掃して下さい。

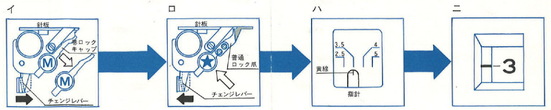
巻ロックキャップ（M／付属）をハメ込む。
（M印部分を押して下さい）

イージーダイヤルを黄線指針をM線に合せる。
④ イージーダイヤルを廻す時は上メスを上方向に回転させます。

送り目をMにセットする。
☞「7．送り目調節」参照

### 【巻ロック→普通ロック】

※この操作は、針が一番下に下がっていますとやりにくい為、かならず針が一番下に下がっていない状態で行って下さい。




チェンジレバー（⇔）を押して巻ロックキャップ（M）を取りはずします。
④ 巻ロックキャップを取りはずした際取付け個所を付属のブラシで清掃して下さい。

普通ロック爪（★）をハメ込む。
（★印部分を押して下さい）

イージーダイヤルを黄線指針を3.5㎜（標準）に合せる。
④ イージーダイヤルを廻す時は上メスを上方向に回転させます。

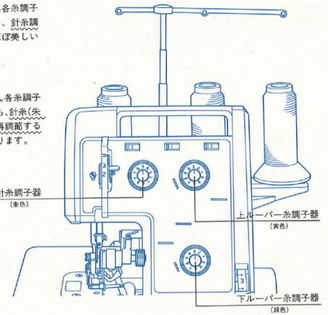
送り目を標準3㎜にセットする。
☞「7．送り目調節」参照

## 5 糸調子のとり方

糸調子は㊀㊁㊂色の３つの糸調子器でとります。糸調子器の数字が大きくなるに従って糸調子は強くなります。

**3本糸普通ロックの場合** いったん各糸調子器をセットすると、素材が変っても、針糸調子器(朱色)を再調節するだけで、ほぼ美しい縫い目に仕上ります。

**3本糸巻きロックの場合** いったん各糸調子器をセットすると、素材が変っても、針糸(朱色)・下ルーパー糸調子器(緑色)を再調節するだけで、ほぼ美しい縫い目に仕上ります。



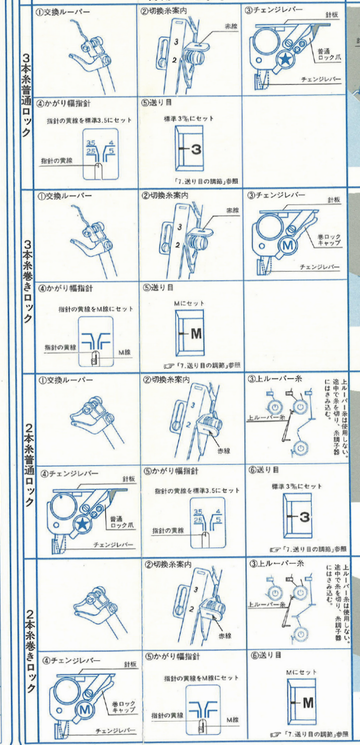

〔布地・糸に対する糸調子器の目安位置〕

下表を目安に各糸の調子をとっていただくと、簡単に美しい縫い目がえられます。
◎周じ素材でも、厚さや織りの違いで、美しい縫い目がえられる糸調子位置が、下表の範囲から外れる事もあります。

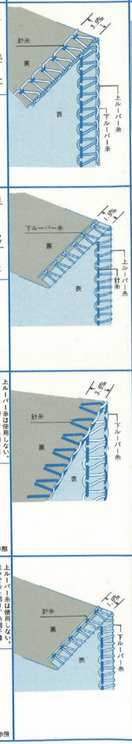
| | | 布地 | 糸 | 針糸調子器(朱色) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 | 上ルーパー糸調子器(黄色) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 | 下ルーパー糸調子器(緑色) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 3本糸 | 普通ロック | 綿ブロード<br>ギンガムチェック<br>ジャージー | スパン #90～#60 | | | |
| | | ジョーゼット | テトロン #100～#50 | | | |
| | 巻きロック | 綿ブロード<br>ジョーゼット | テトロン #50<br>ウーリー・ナイロン | | | |
| 2本糸 | 普通ロック | 綿ブロード | スパン #90～#60 | | | |
| | 巻きロック | ジョーゼット | テトロン #50<br>ウーリー・ナイロン | | | |

## 6 各部のセットと糸調子 ※ミシンご使用前には、下図のように各部が正しくセットされている事を、必ず確認してください。

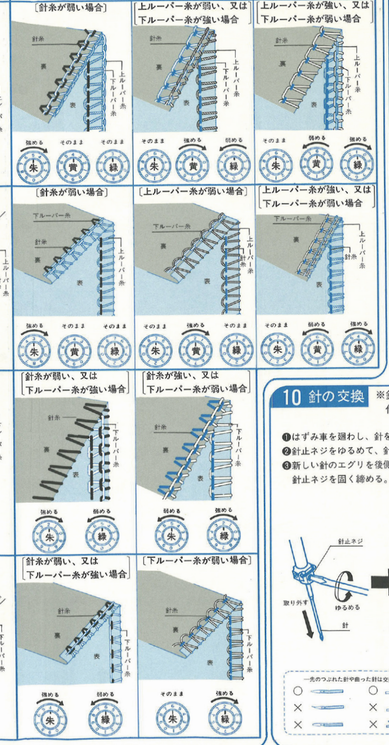
### 各部のセット




### 美しい縫い目

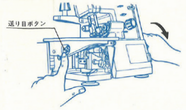



### 糸調子のとり方

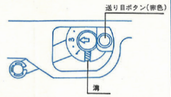



## 7 送り目の調節 ※送り目の調節は「送り目ファインダー」を見ながら、「送り目ボタン」で行ないます。

❶下側面カバーを開ける。

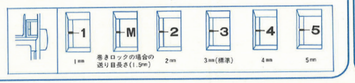



❷左手で送り目ボタン(赤色)を強く押しながら、溝に送り目ボタンがパチンと入るまで、右手ではずみ車を廻わす。



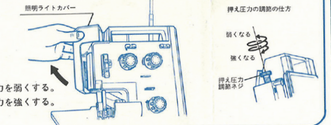

❸送り目ボタンが溝に入ったまま（送り目ボタンを押し続けた状態で）、再びはずみ車を廻わし、ミシン正面右下の送り目ファインダーの指針に、希望の送り目を合わせる。
- 普通ロックの時は、指針を「2」～「5」にセット。
- 巻きロックの時は、指針を「M」にセット。

❹下側面カバーを閉じる。




## 8 押え圧力の調節

このミシンは納品時、押え圧力を調節してありますので、特に薄物・厚物による調節の必要はありませんが、調節する場合は次の通りです。
押え圧力の調節は、照明ライトカバーを開け、押え圧力調節ネジで行ないます。

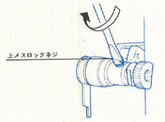



- 薄物――圧力を弱くする。
- 厚物――圧力を強くする。

## 9 極厚物・段縫い

極厚物・段縫いをする場合、図のように上メスロックネジを締めてご使用になりますと、メス逃げなく、スムーズに裁断します。

❹中厚物・薄物縫いの場合は、必ず上メスロックネジをゆるめてご使用ください。




## 布地と糸の関連表

### ●普通ロックの場合

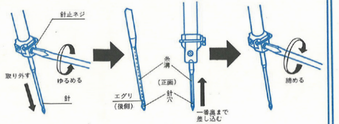
| | 布地の種類 | 糸 | 針 |
|---|---|---|---|
| 本絹麻 | 〔薄地〕ボイル、ローン、ブロード、ギンガム、亜麻など | テトロン #100<br>スパン #90 | DC×IF #11 |
| | 〔厚地〕オックスフォード、デニム、キルティング、ギャバジンなど | スパン #90～60<br>絹 #80～60 | DC×IF #11、14 |
| 絹 | デシン、クレープ、オーガンジー、サテンなど | 絹 #100<br>テトロン #100 | DC×IF #11 |
| 毛 | 〔薄地〕トロピカル、ポーラ、ポプリンなど | スパン #90<br>テトロン #80<br>絹 #80 | DC×IF #11 |
| | 〔普通地〕サージ、ギャバジン、フラノなど | スパン #90～60<br>テトロン #80～60<br>絹 #50 | DC×IF #11、14 |
| | 〔厚地〕ベロア、キャメル、アストラカンなど | スパン #60<br>テトロン #60～50<br>絹 #50 糸 #60～50 | DC×IF #14 |
| 化繊合繊混紡 | 〔薄地〕ジョーゼット、ボイル、サテンなど | スパン #90<br>テトロン #100 | DC×IF #11 |
| | 〔厚地〕タフタ、ツイル、ペキャシャなど | スパン #90<br>テトロン #80～60 | DC×IF #11、14 |
| | トリコット（化繊、合繊） | スパン #90<br>テトロン #80～60 | DC×IF #11 |
| | ジャージ（毛、合繊） | スパン #60<br>テトロン #60<br>ウーリー糸(ナイロン・テトロン) | DC×IF #11、14 |

### ●巻きロックの場合

| | 布地の種類 | 糸 | 針 |
|---|---|---|---|
| 本絹 | ボイル、ローン、ブロード、ギンガムなど | テトロン糸80とウーリーナイロン<br>スパン #90～80<br>テトロン #80 | DC×IF #11 |
| 絹 | デシン、クレープ、オーガンジー、サテンなど | テトロン #100<br>絹 #100 | |
| 化繊 | ジョーゼット、ボイル、サテンなど | テトロン糸80とウーリーナイロン<br>テトロン #100 | |

## 10 針の交換 ※針の交換は、必ず電源プラグを抜いてから作業してください。

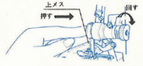
❶はずみ車を廻わし、針を一番上にあげる。
❷針止ネジをゆるめて、針を取り外す。
❸新しい針のエグリを後側にして、針棒の穴の一番奥まで差し込み、針止ネジを固く締める。



このミシンの使用針はDC×IFカバ1種ですは14番です。使用針を間違えますと糸通しませんので、針購入の際は、必ずDC×IFにご指定ください。
- 薄物・普通地――11番を使用する。
- 厚物――14番を使用する。

## 11 メスの交換 ※メスの交換は、必ず電源プラグを抜いてから作業してください。

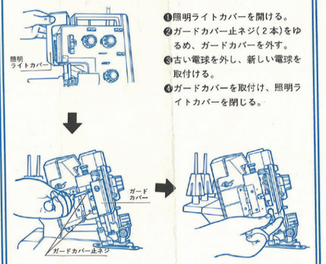
メスが切れなくなったら下メスを交換してください。上メスは交換の必要がありません。
❶上メスを押しながら、上に回転させる。




❷下メス取付ネジをゆるめ下メスをはずします。
（1図）
新しい下メスをメス溝に合せて差込み、下メス刃先が針板上面と同じ高さ(平行)になるようにして下メス取付ネジを締める。
（2図）




## 12 照明ライトの交換 ※ライトの交換は、必ず照明ライトスイッチを「OFF」にしてから作業してください。

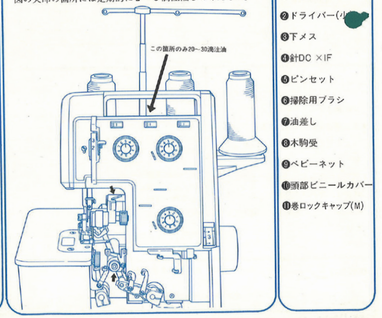



❶照明ライトカバーを開ける。
❷ガードカバー止ネジ(2本)をゆるめ、ガードカバーを外す。
❸古い電球を外し、新しい電球を取付ける。
❹ガードカバーを取付け、照明ライトカバーを閉じる。

◎ライトは最寄りのガソリンスタンド、カーショップ、ベビーロック取扱店でお求めになれます。ご購入の際は、古いライトを持参し、同一のライト(12V 6W)をご指定ください。

## 13 注油

ミシンを長もちさせるためには注油が大切です。
図の矢印の箇所には定期的に２～３滴注油してください。




## 付属品

❶ドライバー(大)
❷ドライバー(小)
❸下メス
❹針DC ×IF
❺ピンセット
❻掃除用ブラシ
❼油差し
❽木駒受
❾ベビーネット
❿頭部ビニールカバー
⓫巻ロックキャップ(M)